



増税中止の対話を1人から2人、2人から4人とすすめてみましょう!



全国の会、東京の会、台東の会合同で11月1日、浅草雷門前で宣伝。

いまいそいそがんばって
なくす会の本領を発揮する時!

会員のみなさんの連日のご奮闘に心から敬意を表します。
朝日新聞11月26日付け世論調査は、各政党の支持率とともに、「消費税を2014年8%に、2015年10%に上げることに賛成か」との設問があり「反対52%、賛成39%」と依然として過半数の国民は増税に反対です。
これから行われる政治選は、マスコミなどは、消費税増税、原発、TPPなどが争点と宣伝しています。

国政を変え、消費税増税を中止させるチャンスです、そして、福祉切りすて、外環道路建設再開などの都政から「人にやさしい東京」につくりかえていく都政めざして、なくす会もがんばる決意です。
私たちが選ぶ基準は、なんでしょうか。民主党政権は、どうして無残な失敗をしたのか、60年続いた「自民党型政治」そのものの行き詰まりに、各政党が消費税について、どう語り、行動してきたかどうかがです
消費税増税や大企業優遇

ば、一ながゼイタクといえども「福祉」といい、現都政の高齢者医療費など社会保障の切りすて、その反面、東京の会で行った「税金のムダ遣い、この眼でみてみようツアー」で多くの参加者から、「こんなところ税金のムダ遣いがと怒りを覚えた、家族・身内の重用や豪華視察などの都政私物化、400億円の税金投入した新銀行の破綻、外環道路建設再開など許すわけには行かない都政がありました。都民の願いを裏切ってきた都政から「自治体として消費税増税に反対する」「人にやさしい東京をつくる」と主張しているみなさんとともに、消費税増税をストップさせることができる新しい政治をつくりましょう。

税制を推進してきた勢力が、明らかに消費税増税中止を主張し始めるなかで、「一貫して消費税に反対し、大企業に自分の負担をもとめてきた」政党の姿が浮き彫りになってきています。
同じ物差しで東京都政をみれば、一ながゼイタクといえども「福祉」といい、現都政の高齢者医療費など社会保障の切りすて、その反面、東京の会で行った「税金のムダ遣い、この眼でみてみようツアー」で多くの参加者から、「こんなところ税金のムダ遣いがと怒りを覚えた、家族・身内の重用や豪華視察などの都政私物化、400億円の税金投入した新銀行の破綻、外環道路建設再開など許すわけには行かない都政がありました。都民の願いを裏切ってきた都政から「自治体として消費税増税に反対する」「人にやさしい東京をつくる」と主張しているみなさんとともに、消費税増税をストップさせることができる新しい政治をつくりましょう。

東京の会総会開かれる
地域の会の多彩な行動報告



東京の会は、10月28日、第23回総会を行いました。力久事務局長から、この1年間で各界連と共同して署名を1万筆余、ビラ40万枚を配布したこと、現在も毎月都内で40数ヶ所の駅頭宣伝などが行われていることが報告された後、各地域の会から討論に入りました。
最初に、湖東税理士(中野の会)から輸出戻し税は廃止、軽減税率は消費者にプラスにならない事などや

「会をつくって毎月の駅宣も85回目になる」(杉並の会)、「会を再開して6年目になる、会員を増やそうと1軒々回っている」(西東京の会)「宣伝に社保協も参加する」(八王子の会) この1年間毎月宣伝行動を行い59筆の署名が集まった(板橋の会)「会を再開して毎月の宣伝と会ニュースも季刊だが28号になつている(東大和の会)区労協の中の会だが、毎月御茶ノ水駅で欠かさず宣伝行動をしている」「千代田の会)、などや葛飾、太田、足立の会の発言があり、増税中止の対話運動をすすめてようと決意新たな総会になりました。

宣伝と対話で増税中止の政治をつくらう!

共産党市議団が要望書を提出

国立市で、7月上旬に市内の中学生すべてに、「消費税の立川関税会」から「税の標語を募集」という名目で、世界の消費税一覧やあなたも消費税の増税を必要だということを恣意的に刷り込むことができる内容になっている、カラー印刷されたクリアファイルが配られました。

日本共産党の国立市議団

は、市民から寄せられた批判の声を受けて、国立市長や国立市教育長に「消費税に関する資料を中学生に配布した件について、回収することの要望書」を10月10日に提出しました。

国立市教育委員会によると、立川税務署が事務局となっていて国立市租税教育推進協議会によって資料配布のほか、税理士会を講師

に、市内の小・中学生対象の「租税教室」も行われているとのことでした。

消費税増税に反対が国民の過半数を超えるなかで、税務署が名前を変えて、国民の税金を使って、消費税の宣伝になるようなことはすべきではありません。

立川だけが行っていると、市町村ではどうでしょうか。

くにたち市

税金を使って消費税の宣伝が行われている 立川関税会が市内の中学生に消費税の資料を配布



なくす全国の会、東京の会合同の11月24日、巣鴨駅での宣伝。消費税増税をストップさせようと訴えました。

江東・怒りの区民集会開かれる

「消費税増税許すな、社会保障充実、原発ゼロなどをスローガンに11月13日、江東区民集会が開かれ、20団体435人が参加し、区内をちょうちんに灯をともしてパレードを行いました。

港区も「消費税増税中止・社会保障改悪反対!」などを掲げて区民パレードが11月28日行われます。



東京各界連は11月19日、JR大塚駅で宣伝。8団体32名が参加、チラシ650枚を配布しました。

板橋・葛飾なくす会、各界連と宣伝

板橋・仲宿商店街で11月22日宣伝、15人が参加して署名39筆、ティッシュ300枚を配布。葛飾は11月22日、立石駅北・南口で宣伝。5団体31人の参加。署名20筆、ピラ1300枚配布、次回は高砂駅で行う予定。

杉並の会・東大和の会も宣伝が行なわれました。

なくす会・各界連 10月の宣伝行動

10月24日を中心に、都内で111団体、599人の参加、40ヶ所の宣伝、署名数909、チラシ配布数24000枚でした。

参加者からは「チラシを読んでがんばって握手された」「高校生が自転車を降りて署名してくれた」などの反応があり、参加した会員からは、「まだあきらめていない」と実感したなどの感想が寄せられています。12月に政治選とともに、寒い中ですが、ひきつづいて宣伝・対話でがんばりましょう。

地域の宣伝・対話の模様をお知らせください。

年末活動強化募金のお願

会員のみなさん、いつもお世話になります。

消費税をなくす会は会費をとらない、あるのは廃止への高い決意と運動のみとがんばってきました、運動を展させるためには儉約をしつつも、どうしても最低限度の活動資金が必要です。東京の会のパソコンが耐用年数を超え、買い替えが迫られています、カラー印刷機も一部の税理士さんの定期募金の好意に支えられている状況です。これらのことを推察いただき、年末募金のご協力を心から訴えます。

2012年12月
消費税をなくす東京の会
同封しました振込用紙を
ご活用ください。

CHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
世界中の子ども みんなに
平和とあわせを

このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。

いわさきちひろ作品普及会